



地域に愛される医療をめざして…

医療法人 東和会

# ぽかぽか陽気

2023年季刊第1号

## ～新年のご挨拶～



医療法人 東和会

第一東和会病院

病院長 田中源重

皆様、新年明けましておめでとうございます。

つい先日、平成から令和に年号が変わったと思っていたら早くも令和5年となりました。

現在、第8波である新型コロナ感染症も残念ながら終息には至っておらず大変心配な状況ですが、今年はインフルエンザの流行も懸念されております。当院としては可能な限り病院機能を維持し、通常診療を目指しております。さらに発熱外来を設置してできる限り地域の皆様の健康維持に貢献していきたいと思っております。

もう一つの心配事は昨年2月に始まったウクライナ戦争です。日本から数千キロも離れた場所での戦争ですが、日本にも大きな影響を及ぼしております。具体的には、物価の高騰やエネルギー問題、さらに経済への影響などがあります。一日も早く戦争が終結し平和な日々が訪れることを願っております。

今年は兎年であり、飛躍・向上の年です。第一東和会病院も地域医療支援病院として、また、大阪府がん診療拠点病院として飛躍していきたいと思っており、職員一同努力していく所存です。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくおねがいします。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

# マンモグラフィ

第一東和会病院 診療技術部 放射線科 **濱野 美穂**

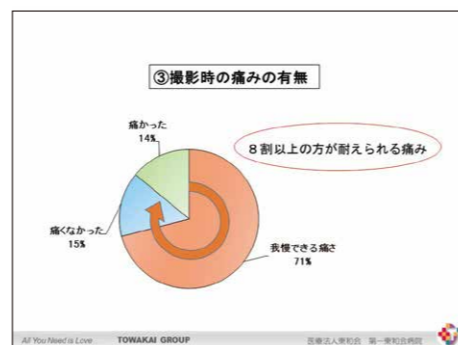
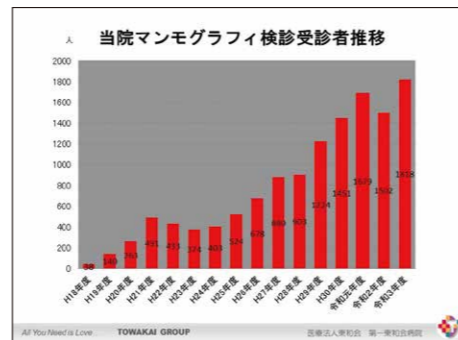


第一東和会病院 放射線技師の濱野美穂です。一般の撮影業務に加え、女性技師という特徴もありマンモグラフィ撮影を担当しています。このたび、2022年11月20日に行われました第32回大阪府診療放射線技師会学術大会において、最優秀賞を受賞することができました。

タイトル「当院マンモグラフィ検診と受診者の声」

当院のマンモグラフィ検診は、2006年の約40人から始まり、徐々に件数が増え2021年には約1800人の方に受診して頂けるほどになりました。欧米での乳がん検診受診率が70~80%に対して、日本では50%程度にしかすぎません。その理由として「痛い」「忙しい」「胸を見せたくない」等の声を聞きます。

そこで、これらの理由に対して改善点はないのかを知るべく、当院マンモグラフィ検診を受けられた1942名の方に、撮影時の圧迫痛に着目しアンケートを取らせて頂きました。結果は意外にも80%以上の方が「耐えられる痛みだった」と答えられました。当院では、きれいな写真を撮ることだけに重視して圧迫するのではなく、受診者さまがストレスを感じない程度の圧迫で、なおかつ



痛いですよね...?

**圧迫の効果と必要性**

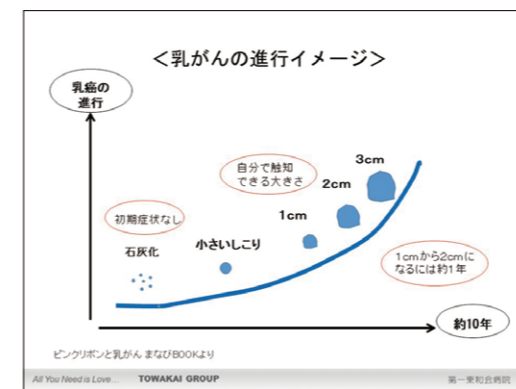
- ・乳房内の構造物の重なりをなくす
- ・より広い組織を写し出す
- ・乳房が固定され体動防止になる
- ・被曝線量の減少になる

乳房の厚みが1cm減ると被曝線量は半分になります

画像も担保できるバランスを考えた撮影を心掛けており、「この痛みなら来年もまた受けていたい」と思ってもらうことを目標としています。実際「次回マンモグラフィ検診をまた受けていたいと思いますか」の質問に対しては、98%の方がまた当院で受けていと回答してくださいました。

なぜこのような結果になったのか、答えはアンケートにありました。「圧迫痛はほとんどなかった」と回答頂いた方のコメント欄には、「優しく声かけしてくれた」、「しっかり話を聞いてくれて安心した」等、技師の対応に関する記載が多数ありました。撮影技術も必要ですが、心理的安心が痛みの軽減に影響することが分かりました。

今後も、受診者さまが安心してマンモグラフィ検査を受けて頂けるよう、検診の質をより高め受検者率をあげ、乳癌の早期発見に繋がりたいと思います。



「当院でまたマンモグラフィ検診を受けたい」と言っていた理由

「優しい言葉遣いで笑顔で話しかけてくれた」  
「話を聞いてくれて安心した」  
「丁寧な対応だった」

↓

身体力が抜ける事で圧迫痛は軽減される

↓

**コミュニケーションが大事**

## 乳がん検診のマンモグラフィ検査を知ってほしい！！

知っていますか？

年間約94000人が乳がんにかかっています **9人に1人！**

でも、乳がんで亡くなる方は年間約15000人 **59人に1人！**

意外と少ないどうして？

乳がんは早期発見すれば約90%の人が命を落とさなくて済みます  
その早期の乳がんを見つけることができるのがマンモグラフィ検査なのです！

でも、マンモグラフィ検査ってお乳を板で挟んで撮影するんですよね痛いですよね...?

圧迫して撮影しますので、多少の圧迫痛はありますが、痛みの感じ方には個人差があります。痛かったら遠慮なく言ってくださいね！

痛くなかった 15%  
痛かった 14%  
我慢できる痛み 71%

撮影時の痛みの有無

当院のマンモグラフィ検査を受けられた方にマンモグラフィ検査の痛さの有無についてお答え頂いたアンケートの結果です。8割以上の方が耐えられる痛みだったと答えられました。また、初めて経験された方は意外とやってみたらそうでもなかったと言われる方が多かったです。生体前や排卵前の乳房が張る時期を避けて、検診を受けられると、撮影時の痛みは和らぐと思います。

通常、自治体で受けることができる市民検診のマンモグラフィ検査は、2年に1回です。しかし、会社の検診等を利用されると毎年マンモグラフィ検査を受けることが可能な場合もあります。検査をご希望される方は予約時に一度ご相談ください。健診時にマンモグラフィ検査を併せて受けてみませんか？※乳がん検診の30歳代はエコー検査、40歳代以上がマンモグラフィ検査となります。

# 市民公開講座のご案内

市民の皆さま向けに、市民公開講座を開催しております。

2023年1月21日に消化器内科金岡秀晃による「withコロナ時代の腹痛について～そのおなかいた、ただの胃もたれですか？～」を開催させていただきました。

腹痛の原因は虫垂炎、胆嚢炎、・・・など多くあり、痛みの種類も様々です。どんな痛みが危ない痛みなのかを判断することは難しいと思います。痛みは我慢せず、迷った際は早めに受診して下さい。コロナ禍での受診控えもありますが、手遅れになる前に適切なタイミングでの受診がとても大切です。胃カメラや大腸ファイバーの検査を希望される方も、お気軽に主治医にご相談ください。

## 次回の市民公開講座のご案内

### 「高齢者の高血圧対策について」

～いつまでも元気でいるために、効果的な高血圧対策を行いましょう～

副院長 循環器内科部長 福西 貴代

2023年3月18日（土）10：00～ 高槻市立生涯学習センター多目的ホール  
※感染対策（マスク等着用）の上、ご参加下さいますようお願い致します。



## 医療法人 東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。



## 診療統計 月平均

項目	2022年 (8~11月)
新入院患者数	588.5
1日平均入院患者数	196.8
病床利用率	80.9
平均在院日数	10.2
1日平均外来患者数	807.9
救急搬送受入患者数	369
手術件数	396.5
全身麻酔件数	221.3
紹介件数	927
外来紹介患者件数	719.3
入院紹介患者件数	268
地域支援病院 逆紹介件数	549.3
地域支援病院 紹介件数	572.5



地域に愛される医療をめざして...

東和会グループ

<https://towakai-med.or.jp/>

院外広報誌 ぽかぽか陽気 2023年季刊第1号

発行日/ 2023年1月

発行者/ 医療法人 東和会 〒569-0081 大阪府高槻市宮野町2番17号  
TEL:072-671-1008(代)  
FAX:072-671-1030